TANITA®
健康をはかる

体組成計
MC-980A plus

型式承認取得品
圓基準適合証印

Multi Frequency
Segmental Body
Composition Analyzer

MC-980A plus

Made in Japan 日本製

更なる高精度・高機能を追求した
次世代体組成計

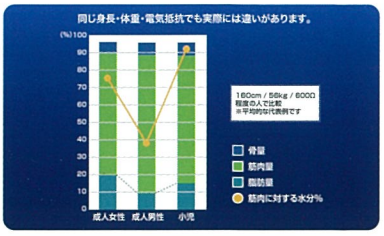
MC-980A plus

豊富な臨床試験に基づいて開発された高精度モデル

体組成計のパイオニアであるタニタのBIA体組成計は、豊富な臨床試験データに基づいて開発されています。

人体の多様性を反映しているため誤差が少ない

タニタのBIA体組成計は、多様性（人種・体格・年齢・性差など）に対応した高精度な測定が可能です。他で見られる単純なBIA仮説モデル（人体を単純な円筒形と仮定したモデル）を適用した体組成推定とは異なります。なぜなら、円筒形と仮定したモデルでは体内組織形状（骨格や密度など）の違い等が測定値に反映されず、誤差が大きくなるからです。豊富なデータをもとに開発されているので、年齢や性差により異なる体内組織形状や水分バランス等の違いをも反映した誤差の少ない測定値が得られます。

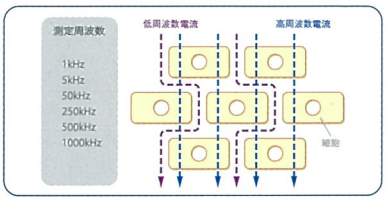


誤差が少ないので他の健診結果と比較可能

タニタのBIA体組成計による体脂肪率や内臓脂肪レベルは、メタボリックシンドロームの診断や血中脂質、血圧などの個々の測定結果と良好な相関があり、健診結果との比較検討に有効です。

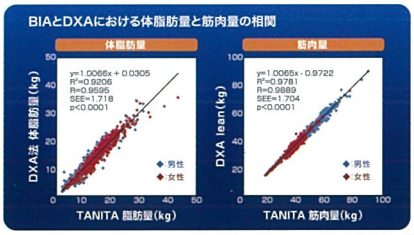
6つの周波数で精度の高い測定が可能

6つの周波数でのBIA測定により、正確な筋肉量、体水分量、体脂肪率の算出が可能になりました。



DXAとの相関係数は、小児から高齢者まですべて0.9を超える高精度

6つの周波数によるBIA分析に加え、リアクタンスまで分析し、体格差や性差、水分変動に対応した高精度な測定技術の開発を実現しました。そのため、これほど簡便な測定でありながら、体組成測定の基準となるDXA測定との比較では、小児から高齢者まで筋肉量・体脂肪量ともに相関係数r＝0.9を超え、他の追随を許さない高精度での測定が可能となっています。



測定スピードが速い

周波数を増やしながらも測定時間は短く、約30秒で測定できます。この速さは同等機能商品の測定時間より約25%削減されたスピードです。（当社比）

様々な分野でサポート

医療施設

生活習慣管理などの動機付けや評価指標に

リハビリテーション

指導や評価指標に

スポーツ施設・フィットネスクラブ

トレーニングの効果指標に

体重専用モードでもデータベースに保存できます。

大学・研究施設

加齢による筋肉量減少の調査に

従来、筋肉量の評価はDXA法を用いるのが一般的でしたが、タニタはBIA法を用いた筋肉量の評価を可能にしました。

プレミアムゴールドメタリック

ホワイト&ネイビー